

工作会 活動記録 (R元-9) 報告書

報告者 石堂純子

行事名	工作会研修 「餅つきウサギ」 担当3班
実施日時	2019年9月18日 9:30~15:00 天候：曇り
場所	売布ぷらざこむ2階 21A・B
参加人員	一般：無 MNC会員42名
参加者氏名	専任幹事 大地(敬) 1班：村上、木村、松田(輝)、橘、吉田、澤井、中村(幸)、木茂、溝部、大地(祥)、吉田、中村(幸)、藤原(泰) 荒井 (14名) 2班：松田(秀)、今西、松生、小童、多田、田中、高橋(博)、森本竹内、小山、松本、木村(良) (12名) 3班：軸屋、永田、詠田、沼田、中尾、青山、西島、香川、新宅、石原、藤野、花島、石堂 (14名) 合計：41名
告事項	<p>季節に応じた工作をと思い、「餅つきウサギ」を作成しました。</p> <p>材料は、センダン、竹を中心にナンキンハゼやケンボナシの実を使って工作をしました。</p> <p>作業工程は、青山さんのご指導で、プリントもわかりやすく書いていただきました。少しかい作業があったので、皆さん若干苦勞をされたように思いますが、可愛いウサギができあがると、笑顔がこぼれました。</p> <p>最初に、胴体と腕と杵の製作にかかりました。杵を作るのに中央部を補足しなくてはいけなかったため、のこぎりで切り目を入れて小刀で削りました。部品が小さいので、苦勞されていました。</p> <p>駆動部の製作では大きな問題はなかったように思いますが、2枚の竹板の隙間を3mmほど取った位置の穴開けだったので、やや難しかったかもしれません。</p> <p>できあがりに近づくと、ウサギの杵が臼にちゃんと入ってくれるかが気がなるころでした。駆動部と足部の止めをある程度しっかりと固定できていないと、ウサギがふらついて、杵が入りません。また、杵が臼の真ん中に垂直に入るようにするには、腕と胴体のつける場所がうまくいかないと、入りません。その塩梅が各人の腕の見せ所だったのでしょうか。</p> <p>寸暇を惜しんで、作成して頂きました。お疲れ様でした。</p> <p>3班は、9月の甲山ファミリーの確認をして、終了しました。</p> <p>いつものことですが、諸先輩方のご配慮に感謝の気持ちでいっぱいです。</p>
絡事項	<p>担当班3班より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の青山さんより、ご協力願えたことのお礼がありました。また、甲山ファミリーへのご協力をお願いしました。

活動の様子



材料ずらっと並んだよ



ウンウン！そうなるのか！できるかな？！

名指導者 青山さん

ここがポイントですよ！！



これ、見本に持って
行っていい？

さあ！やるぞ！！
見えんがなー



ここに爪楊枝を
差し込んでっ！



未成交響曲！ウサギの頭が・・・



ウサギの目をつ
けるところまで
きた。もう少し！
ファイト！！



これは遊んでいるのでは

ありません。ファミリーの準備！！



僕はマイペース

私たちは相談仲良し組

ペタン！ペタン！搗けや搗け！！力を合わせて、ペタンコ！！そろいました。お見事！！



ほれほれ！

うまいこと餅搗く！